

# [奨励賞] 経管投薬用高速簡易懸濁注入器 クイックバッグ



代表取締役  
盛本 修司氏

株式会社 モリモト医薬

〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島5-8-28

TEL. 06 (6476) 5572

<http://www.morimoto-iyaku.jp/>

モリモト医薬の「経管投薬用高速簡易懸濁注入器 クイックバッグ」は、フィルム材の袋の中で錠剤やカプセルを揉みほぐして薬剤を完全に崩壊、放出できるディスポーザブルバッグ。従来経管投薬の際は、錠剤を乳鉢ですり潰す粉碎法が主流だったが、近年ではカップや懸濁用ボトルで薬剤を崩壊・懸濁しシリンジで吸引して栄養チューブに接続する「簡易懸濁法」が普及している。しかしこの手法では薬剤の溶け残りの放置による配合変化やチューブ内の目詰まり、溶液の逆流などの問題点が起こっていた。また医療現場ではシリンジや懸濁用ボトルが再使用されており、他の薬物混入や雑菌の発生、看護師の負担増などの問題もあった。

「クイックバッグ」はまずジッパーを開いて薬剤と55度Cの温湯を投入して懸濁する。崩壊しない薬剤は指で揉む。さらに経管チューブに接続して2、3回折ると弱シール部を懸濁液が貫通し残らず注入される仕組み。使い終えたら廃棄する。

この「弱シール」がポイントで一般のヒートシールと比べ強度が4分の1から7分の1と低く、ごく微弱な力で貫通できるようになった。従来の簡易懸濁法で使うボトルは、湯と薬剤が短時間では崩壊しなかった。同社の製品はフィルムによるバッグ形状なので5分から10分で完全に崩壊させる。看護師の手間がかからず価格も1割程度安価で供給している。同社の試算では粉碎法の半分程度にコスト低減できると見ており、納入実績も順調に拡大している。

